

**2026年2月10日
第197号**

発行:日本臨床検査技師連盟
発行責任者:深澤恵治
編集担当者:日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

◇第51回衆議院議員総選挙各支部の活動報告

第51回衆議院議員総選挙各支部の活動報告

今回の衆議院議員総選挙において各支部の活動をピックアップしてご紹介いたします。

富山県

富山県では、2月5日(木)にホテルグランテラス富山でおこなわれた中田宏総決起集会に出席した。富山市の会員へも情報共有を行った。結果開票早々に当確が出て富山の地で国政復活を果たした。



(富山県 支部長 澤井)

埼玉県

第51回衆議院選挙候補者の遊説応援に参加したので報告する。

1月31日、埼玉県鴻巣駅前にて、埼玉県第6区の自民党衆議院埼玉県第6支部長、尾花あきひと候補者の遊説が行われた。

経済対策、道路建設、医療介護の政策について熱い思いを語っていた。また、埼玉県議会議員の中屋敷先生、金子先生、市議会議員や多くの支援者が集まった。また応援弁士として、元厚生労働大臣の田村憲久先生も駆けつけた。候補者には新しい力で未来を切り開いてほしいと激励をしていた。

埼玉県蓮田駅前にて、埼玉県第13区の自民党衆議院埼玉県第13支部長、三ツ林ひろみ候補者の遊説が行われた。医師として地域医療に携わった経験から、国と医療提供体制の強化として病院の確保、誘致、病床数に関する意見交換を行ってきた。応援では元厚生労働大臣の田村憲久先生がマイクをとり、物価高騰により医療は大変に厳しい現状であり、補正予算から3%を確保できたことは次に繋げるため、社会保障政策を推進するにあたり、是非とも三ツ林候補には返り咲いてもらいたいと激励をされていた。最後に蓮田市三幸会（後援会）の近藤市議より「勝つぞ」コールを支援者一同で行い、盛大な拍手と温かい声援が送られました。



2月7日埼玉県吉川駅前にて、埼玉県第16区、自由民主党つちや品子候補者の遊説が行われた。



道路インフラの整備、稲作地帯である吉川市では農業経営の安定化、医療、社会保障、子育て支援の充実を訴えていた。また、埼玉県議会議長の白土幸仁先生、副議長の加藤裕康先生をはじめ、市議会議員や多くの支援者が集まつた。東京都、浮間舟渡駅前ロータリーにて「高市早苗総裁遊説」が行われた。駅前には多くの聴衆が集まつた。激戦区である東京12区は自由民主党、高木けい候補者が最後のお願いを行つた。高市早苗首相は、成長戦略分野や外国人政策を訴えていた。



最後に
「明日は
雪の予報
ですの
で、期日
前投票に
行ってく
ださい」

と再度、有権者に投票を呼びかけていた。埼玉県坂戸駅前にて、埼玉県第10区の自民党衆議院埼玉県第10支部長、山口すすむ候補者のマイク納めが行われた。



前回の選挙から1年半、地域の皆様の声を聴き活動を重ねてきた。10区は3市7町の広い選挙区、多くの支援者、皆様の想いを国に届けると熱い思いを訴えていました。坂戸の石川清市長、県議会議員の横川先生をはじめ市議会、町議会議員、多くの支援者が集まり「すすむ、すすむ、進むんだ」コールを支援者一同で行い、盛大な拍手と温かい声援が送られました。

（埼玉県 支部長 神戸）